

平成20年度 学校経営計画

広島市立中島小学校

学校教育目標 **心豊かな なかじまっ子 の育成**      なかよく あかるい子      かんがえ くふうする子      じょうぶで      ねばりづよい子      まじめで      よくはたらく子

目指す学校像(ビジョン)  
 (1) 児童が、楽しくのびのびと学ぶことができる学校      (4) 児童、教職員が一体となり、環境整備、美化活動に取り組む学校  
 (2) 児童が自らよく考え、自ら判断し行動する学校      (5) 規範性、感性、体力、コミュニケーション能力を育てる学校  
 (3) 自尊感情を大切にし、命を大切にす学校      (6) 教職員自らを開き、相互信頼と協働態勢のある学校

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標・評価基準				
				努力指標		成果指標		
学力の向上	指導方法、評価方法の工夫、改善を図り、分ける授業を創造することによって、確かな学力を育てる。	「基礎・基本」定着状況調査等を生かして授業改善を図る。	・学力テストの調査結果を分析し、各学年に応じた指導方法を段階的に取り入れる。	4	改善の方策を十分取り入れた。(教師アンケート)	4	領域別テストで80点以上の児童が80%以上であった。(領域別テスト)	
				3	改善の方策をある程度取り入れた。	3	領域別テストで80点以上の児童が60%以上80%未満であった。	
				2	改善の方策をあまり取り入れなかった。	2	領域別テストで80点以上の児童が40%以上60%未満であった。	
				1	改善の方策をまったく取り入れなかった。	1	領域別テストで80点以上の児童が40%未満であった。	
				4	全員が授業公開をし、全体研究会を4回以上開いた。	4	児童の肯定的回答が80%以上であった。(児童アンケート)	
				3	全員が授業公開をし、全体研究会を3回開いた。	3	児童の肯定的回答が60%以上80%未満であった。	
豊かな人間性の育成	望ましい生活習慣、正しい判断力、思いやりの心などの豊かな人間性の育成に努める。	基本的な生活習慣の定着を図る。	・生活習慣調査により基本的な生活状況を把握し、年3回以上、生活習慣ががんばりカードを実施する。	4	年3回以上、生活習慣ががんばりカードを実施した。	4	生活習慣ががんばりカードで が80%以上ついた児童が80%以上であった。	
				3	年2回以上、生活習慣ががんばりカードを実施した。	3	生活習慣ががんばりカードで が80%以上ついた児童が60%以上80%未満であった。	
				2	年1回以上、生活習慣ががんばりカードを実施した。	2	生活習慣ががんばりカードで が80%以上ついた児童が30%以上60%未満であった。	
				1	生活習慣ががんばりカードを実施しなかった。	1	生活習慣ががんばりカードで が80%以上ついた児童が30%未満であった。	
				4	資料を活用・開発し授業改善を十分に行った。	4	実態調査実施の結果で80%以上できている児童が80%以上であった。	
				3	資料を活用・開発し授業改善をある程度行った。	3	実態調査実施の結果で80%以上できている児童が60%以上80%未満であった。	
		あいさつのできる学校生活をつくる。	・「心のノート」やがんばりカードを活用して、自然にあいさつができるように働きかける。	4	あいさつをするように十分働きかけた。(教師アンケート)	4	あいさつが自然にできるようになった児童が80%以上であった。(生活習慣ががんばりカード・児童・保護者・教師アンケート)	
				3	あいさつをするようにある程度働きかけた。	3	あいさつが自然にできるようになった児童が60%以上80%未満であった。	
				2	あいさつをするようにあまり働きかけなかった。	2	あいさつが自然にできるようになった児童が30%以上60%未満であった。	
				1	あいさつをするようにまったく働きかけなかった。	1	あいさつが自然にできるようになった児童が30%未満であった。	
				4	運動や遊びの紹介を年7回以上行った。	4	自分の記録がのびた児童が、80%以上であった。(体力テスト)	
				3	運動や遊びの紹介を年4～6回行った。	3	自分の記録がのびた児童が、60%以上80%未満であった。	
健康・安全教育の推進	安全教育、健康教育、体力づくりの推進を図る。	児童の安全意識の向上、教職員の危機対応能力の向上を図る。	・5つの約束を守るように働きかける。	4	自分を守ることに十分に意識づけをした。(教師アンケート)	4	意識しながら登下校した児童が80%以上であった。	
				3	自分を守ることに一定程度意識づけをした。	3	意識しながら登下校した児童が60%以上80%未満であった。	
				2	自分を守ることにあまり意識づけをしなかった。	2	意識しながら登下校した児童が30%以上60%未満であった。	
				1	自分を守ることにまったく意識づけをしなかった。	1	意識しながら登下校した児童が30%未満であった。	
				4	各学年3種目以上のがんばりカードを活用した。	4	自分の記録がのびた児童が、30%以上60%未満であった。	
				3	各学年2種目以上のがんばりカードを活用した。	3	自分の記録がのびた児童が、30%未満であった。	
	地域・安全教育の推進	地域の安全意識の向上、教職員の危機対応能力の向上を図る。	・日常的な学校生活における体力づくりの習慣化を図る。	・意欲的に運動や遊びに取り組むようにがんばりカードを活用する。	4	各学年3種目以上のがんばりカードを活用した。	4	児童、ゲストティーチャーの肯定的回答が80%以上であった。
					3	各学年2種目以上のがんばりカードを活用した。	3	児童、ゲストティーチャーの肯定的回答が60%以上80%未満であった。
					2	各学年1種目以上のがんばりカードを活用した。	2	児童、ゲストティーチャーの肯定的回答が30%以上60%未満であった。
					1	がんばりカードをまったく活用しなかった。	1	児童、ゲストティーチャーの肯定的回答が30%未満であった。
					4	地域・保護者に十分知らせることができた。(教師アンケート)	4	満足した地域・保護者の方が80%以上であった。(地域・保護者アンケート)
					3	地域・保護者にある程度知らせることができた。	3	満足した地域・保護者の方が60%以上80%未満であった。
まちぐるみによる教育の推進	地域に開かれた信頼される学校づくりに努め、地域と連携した教育活動を推進する。	地域教材、地域人材を授業に活用する。	・地域や各部門の専門的指導者から指導を受けたり、体験交流を行ったりする。	4	年4回以上専門的指導者からの指導や体験交流を行った。	4	児童、ゲストティーチャーの肯定的回答が80%以上であった。	
				3	年3回以上専門的指導者からの指導や体験交流を行った。	3	児童、ゲストティーチャーの肯定的回答が60%以上80%未満であった。	
				2	年2回以上専門的指導者からの指導や体験交流を行った。	2	児童、ゲストティーチャーの肯定的回答が30%以上60%未満であった。	
				1	年1回以上専門的指導者からの指導や体験交流を行った。	1	児童、ゲストティーチャーの肯定的回答が30%未満であった。	
				4	地域・保護者へ情報発信を充実させ、開かれた学校づくりに努める。	4	満足した地域・保護者の方が80%以上であった。(地域・保護者アンケート)	
				3	地域・保護者にある程度知らせることができた。	3	満足した地域・保護者の方が60%以上80%未満であった。	
				2	地域・保護者にあまり知らせることができなかった。	2	満足した地域・保護者の方が30%以上60%未満であった。	
				1	地域・保護者にまったく知らせることができなかった。	1	満足した地域・保護者の方が30%未満であった。	